

## 「福井ふるさと元気宣言」推進に関する政策合意

私は、知事の政策スタッフとして、「福井ふるさと元気宣言」に掲げられた政策等を実現するため、次に掲げる施策・事業について重点的に実施することを西川一誠知事と合意します。

平成29年4月

福井県知事 西川 一誠  
農林水産部長 中村 保博

### 29年度の施策

#### 1 「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ

##### ◇食料産業パワーアップ

##### ○競争力を高める福井米づくり

- ・「いちほまれ」の品種登録を行い、平成30年からの本格生産販売に向け、農業団体と一体となって、高食味を確保する栽培指導を行うとともに農薬の使用量を減らし、高付加価値米を生産します。
- ・「いちほまれ」のブランド化に向けて、新品種にふさわしいロゴマークや米袋を制作するほか、首都圏を中心としたPR活動や百貨店、高級料理店などへの営業活動を強化し、高価格販売につながる新たな販路を確保します。**交流拡大施策**
- ・100ha規模のメガファームの育成とあわせて、全集落営農組織を対象に、組織の経営状況に応じた規模拡大や園芸導入について、JAと共動して個別指導を実施し、経営力の向上を図ります。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
メガファーム数 (累計)	8組織	12組織	16組織	20組織

## ○九頭竜川地域 農と水の振興ビジョンの推進

- ・パイプライン通水エリア全域において、夜間かんがいの実施と農薬の使用量を減らしたコシヒカリの生産を昨年度に引き続き実施します。
- ・三里浜砂丘地においてニンジン、ラッキョウ、ミディトマト、コカブ、ショウガの生産を拡大します。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
三里浜砂丘地園芸生産面積(累計)	148ha	163ha	170ha	180ha

- ・日本一の生産基盤を活かした農業について、教科書への掲載を提案します。また、九頭竜川地域のパイプラインを地域の児童の学習に活用します。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
学習会の開催校数(累計)	—	41校	60校	85校

### ○福井の野菜・果物をもっと市場へ

- ・周年出荷を目指した大規模園芸施設において、ミディトマト、青ネギ、イチゴの生産を拡大します。
- ・企業と共動して、地中熱や赤外線を活用した施設園芸の暖房経費の低コスト化技術の実証を進めます。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
大規模園芸施設 販売量	270t/年	475t/年	780t/年	940t/年

- ・水田地域において、集落営農組織等にネギ、キャベツ、ブロッコリー、タマネギの生産を拡大します。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
集落園芸面積(累計)	144ha	201ha	250ha	300ha

- ・ブドウの生産拡大に加え、新たに観光農園向けの柑橘、完熟モモ・スモモの生産を開始します。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
おいしい果物生産量	61t/年	81t/年	110t/年	175t/年

### ○「福井百歳やさい」の生産拡大

- ・越前白茎ごぼう、菜おけ、吉川ナスなど「福井百歳やさい」の生産面積の拡大を支援するとともに、直売所や農家民宿・農家レストラン等への販売を促進します。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
福井百歳やさいの 生産面積(累計)	12.0ha	14.6ha	17ha	20ha

### ○畜産物の生産・販売拡大

- ・若狭牛の導入支援や提供店の新規開拓を行い、三ツ星若狭牛の生産・販売を拡大します。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
三ツ星若狭牛販売額	2.5億円/年	3.0億円/年	3.1億円/年	3.2億円/年

- ・新たに開発した地鶏「福地鶏<sup>ふくじどり</sup>」の普及を図るため、ひなを計画的に農家に供給するとともに、「地鶏たまご」をスーパーや直売所において販売を開始します。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
新地鶏導入数	—	—	2,400羽/年	3,000羽/年

### ○6次産業のスケールアップ

- ・企業や大学、研究機関等との共働により、県産食材を使った機能性に着目した新商品の開発やスイーツの販路開拓を進め、6次化商品の販売額を増やします。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
6次化商品の販売額	1.7億円/年	2.3億円/年	2.9億円/年	3.1億円/年

◇「里山里海湖ビジネス」の新展開【部局連携】

○中山間産業の新スタイル

- ・農地の維持管理が困難な中山間地域等において、JA等による広域作業受託組織を育成し、耕作放棄を防ぎます。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
広域作業受託組織の 設立(累計)	4組織	6組織	8組織	10組織

- ・中山間地域において、収益性の高い施設園芸や、鳥獣被害の少ない果樹栽培を推進します。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
施設園芸や果樹栽培 への転換(累計)	10か所	23か所	38か所	60か所
	1.0ha	5.0ha	6.5ha	9.0ha

- ・特用林産物については、ジャンボしいたけ(香福茸)や菊炭など付加価値が高いものや、くず、コウゾ、ウルシなど本県の伝統産業を支える原材料の生産を支援し、販売を拡大します。また、インターネットにより山菜などを全国販売するビジネスモデルを構築します。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
特用林産物生産額	5.7億円/年	6.3億円/年	6.9億円/年	7.5億円/年

## ○福井型・新グリーンツーリズム

- ・ミニ農家レストラン、ミニ直売所、体験交流型農園の整備を支援することにより、里山里海湖ビジネスを推進します。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
農家レストラン、直売所、体験交流型農園の整備（累計）	44 か所	74 か所	100 か所	134 か所

- ・若年層を対象とした漁船クルーズ等の漁業体験の充実や、マハタやトラウトサーモンを活用したコース料理の提供により、さとうみの宿の売上額を増やします。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
さとうみの宿の売上額	37 億円/年	38.1 億円/年	39 億円/年	40 億円/年

- ・県内3箇所を設定したトレイルコースにおいて、イベントを開催するとともに、新たなコースの設置等を支援し、誘客を進めます。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
トレイルコース利用者数	1 千人/年	1.2 万人/年	1.6 万人/年	2 万人/年

## ○鳥獣の被害対策

- 被害の実態に応じた電気柵・金網柵等の新規整備や更新、地域ぐるみの追い払い活動等を行い、農作物の被害を減らします。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
有害鳥獣による農作物被害面積	241ha/年	200ha 以下/年	180ha 以下/年	150ha 以下/年

- シカの捕獲技術の向上を図るための研修会の開催や優良捕獲者の登録・派遣を行う人材バンクの活用を市町に促すことにより、体制を強化し、有害鳥獣の捕獲を進めます。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
有害鳥獣捕獲頭数	16,700頭/年	19,000頭/年	20,000頭/年	21,000頭/年

◇「ふくい食ブランド」を地消・外商【部局連携】

○日本でいちばんおいしい学校給食へ

- ・小学校における学校給食畑での畑作体験の促進や和食・郷土料理を取り入れた地産地消給食の導入を進めます。また、子どもたちが農業を手伝い、水田に親しむ様子を収めた写真コンテストを実施し、子どもたちに、農業の大切さや魅力を伝えます。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
学校給食畑実施校数	132校/年	150校/年	170校/年	190校/年 (県内全校)

○福井ゆかりの店ネットワーク

- ・新鮮配送システムを活用し、「福井ゆかりの店」の販売額を拡大します。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
「福井ゆかりの店」 の販売額	2,500万円 /年	3,000万円 /年	4,000万円 /年	5,000万円 /年

○海外に売り込む「福井の食」

- ・「ふくい食輸出サポートセンター」が中心となり、香港やシンガポールなどにおいて、食文化提案会や商談会、飲食店での福井フェア等を開催します。本県の食材を取り扱う飲食店や新たに輸出に取り組む県内事業者を増やし、食品輸出を拡大します。 **交流拡大施策**

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
県産食材取扱い飲食 店数(累計)	10店	17店	30店	40店
輸出に取り組む事業 者数(累計)	21事業者	24事業者	27事業者	30事業者



## ◇ もうかる漁業へ転換加速

### ○里山里海湖の「宝」を福井ブランドへ

- ・越前がに極を先頭に「カニと言えば、福井県」を発信するため、首都圏、関西圏、中京圏の大型ビジョンで越前がにPR動画を上映するとともに、福井で獲れる旬のカニ料理の周年提供を支援します。
- ・国内外で需要の高いトラウトサーモンの養殖を嶺北地域に拡げ、日本一の生産地を目指します。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
トラウトサーモンの大型養殖施設箇所数(累計)	2か所	3か所	4か所	4か所

### ○地魚の加工・流通拡大

- ・漁協女性部と共働し、水産加工施設で作られた加工品を活用して料理や惣菜を開発します。また、ラッピングカーによりPRするとともに、福井ゆかりの店や首都圏において商談会等を開催するなど、加工品の販売を増やします。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
加工品販売額	375億円/年	381億円/年	385億円/年	395億円/年

### ○水産学術産業拠点の整備

- ・トラウトサーモンの養殖生産量の増大に向けた地下海水井戸の試掘を実施し、マハタの種苗生産施設の整備に着手します。

## ◇森林を市場にもっと直結

### ○県産材をフル活用

- ・コミュニティ林業や民有林と県有林が一体となった木材生産団地を拡大し、山ぎわ等の間伐を進め、県産材の生産を増やします。また、主要道路や国体会場周辺等での間伐を進めます。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
コミュニティ林業 (累計)	75 集落	95 集落	115 集落	135 集落

- ・人工乾燥施設の導入を平成27～29年度で3基支援し、品質の確かな人工乾燥材の生産を増やし、県産柱材の利用を拡大します。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
県産柱材の利用	3,350 m <sup>3</sup> /年	4,850 m <sup>3</sup> /年	5,800 m <sup>3</sup> /年	6,800 m <sup>3</sup> /年

- ・A材の需要を拡大するため、国内最大規模の展示会への出展や大手建材メーカー等との商談会を開催し、都市圏などへの県産材製品の新たな販路開拓を行います。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
県産材製品の 販路開拓	—	—	500 m <sup>3</sup> /年	1,000 m <sup>3</sup> /年

- ・間伐材をA、B、C材に選別し、効率的に出荷するためのウッドターミナル等を整備し、流通の低コスト化を実現し、木質バイオマスへの安定供給を着実に進めます。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ウッドターミナル等 取扱量	10,000 m <sup>3</sup> /年	38,000 m <sup>3</sup> /年	55,000 m <sup>3</sup> /年	80,000 m <sup>3</sup> /年

- ・ G P S を活用した境界測量等に対して支援し、山ぎわの森林境界の確認を加速します。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
森林の境界確認 (累計)	—	1,600ha	3,200ha	5,000ha

## 2 福井から人材育成

### ◇産業人材の育成・誘致システム

#### ○人材育成カレッジなど研修体制を充実・強化

- ・園芸カレッジにおいては、圃場での機械操作を増やすなど、実践研修を強化し、高い生産技術を有する新規就農者を育成します。
- ・水産カレッジにおいては、新たに小型船舶や無線の資格取得のカリキュラムを追加し、新規漁業就業者を確保・育成します。
- ・ふくい林業カレッジにおいては、伐採・搬出技術や林業機械の運転資格の取得のための研修などを行い、新規林業就業者を確保・育成します。
- ・3カレッジ合同の研修会を開催し、技術や経営ノウハウの共有につなげるとともに、就農後のビジネス展開につなげます。
- ・農林水産系高校を中心に最先端技術の出前講座や体験学習を強化し、就業に結びつけます。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
<農業> 新規就農者数(累計)	80人	171人	260人	350人
<水産業> 新規就業者数(累計)	21人	42人	60人	80人
<林業> 新規就業者数(累計)	40人	81人	130人	180人

- ・ふくい農業ビジネスセンターにおいて、小規模から大規模に至る全ての農業者を対象に、研修の開催や異業種人材との交流を行い、メガファームの経営者や、新たな農業ビジネスを実践する人材を育成します。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
農業ビジネスの人材育成(累計)	—	64人	110人	164人

### 3 日本一の安全・安心

#### ◇あらゆる災害対応を迅速第一【部局連携】

##### ○ハード・ソフトの県土強靱化

- ・地元と共働して農業水利施設の点検・管理体制を強化し、災害を未然に防止するとともに、機能診断に基づく機能保全計画を策定し、施設の長寿命化対策を徹底します。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
機能保全計画策定施設数(累計)	280施設	330施設	380施設	400施設

### 4 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に

#### ◇元気な里山里海湖【部局連携】

##### ○福井の豊かな里山里海湖を次世代に

- ・水田魚道整備などの生態系保全や植栽などの農村景観保全を行う集落数を増やし、豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に引き継ぎます。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
農村環境保全取組み集落数(累計)	718集落	864集落	1,000集落	1,100集落

### 5 国体の成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に

#### ◇県民総参加の福井国体【部局連携】

##### ○花づくり活動の推進

- ・「全国花のまちづくり福井大会」を開催し、国体・障スポ開催に向けた花づくり活動の機運向上につなげます。**交流拡大施策**
- ・国体会場へのアクセス道路沿い等に、花や花木を植栽する「花の回廊づくり」や、子ども達が育てた花苗を観光地等へ植栽する「花のスクールステイ事業」を拡大し、県下全域で花のあふれる美しいまちづくりを進めます。